

議案第16号 平成29年度八千代市一般会計予算の組み替えを求める
動議について

上記の動議を会議規則第16条の規定により提出します。

平成29年3月17日

八千代市議会

議長 成田 忠志 様

提出者	八千代市議会議員	植 田	進	⑩
賛成者	八千代市議会議員	伊 原	忠	⑩
	同	堀 口	明子	⑩

提案理由

1, 5月の市長選挙を控え、今回提案されたのは、「骨格予算」として位置づけられている。しかし、一方で秋葉市長の4年間の総決算としての性格も併せ持っている。

秋葉市長は、自らの公約を反故にし、前市長以来の借金体質を継承、そのつけを市民に押しつけてきた。高すぎる国民健康保険料・介護保険料、増え続ける保育園・学童保育の待機児童などなど。

いま、市民が望んでいるのは、自治体としての本来の役割である「福祉の増進」である。限られた財源を市民の暮らし・福祉最優先に切り替えるために、組み替えの動議を求めるものである。

2, 組み替えの基本方針

(1) 予算委員会で、他の会派から予算の修正案が出されているが、市民の切実な要求に応えたもので賛同できる。

同時に、その中には含まれていない多様な要求が寄せられている。市民の暮らしを守る観点から予算の組み替えを求める。

(2) 緊急かつ切実な市民の要望にこたえ、財政調整基金、国からの交付金を活用して国民健康保険料の引き下げなど実現する。

3, 組み替えの内容

総額5億3千万円を確保して、いまだ耐震診断未実施の公共施設13施設の耐震診断を行うこと。議会での決議がされながら、調査費さえもつけられていない教室にエアコン設置に向け調査費計上。

格差と貧困の広がりの中、学校給食費に対する補助、子ども医療費の窓口負担をゼロにすること。

高齢者の配食サービスの充実、インフルエンザ予防接種への助成金引き上げ。高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める。

H29年度一般会計予算(案)に対する組み替え

千円

歳入		
費目	金額	備考
財政調整基金	398,360	取り崩し
保険者支援金	140,000	国からの交付金
計	538,360	

歳出		
費目	金額	備考
公共施設耐震診断	36,000	未実施の13施設(清掃センター・衛生センターを除く)
学校エアコン導入のための調査費	5,000	
配食サービス費	27,000	市の負担100円⇒300円に増額
公立図書館図書購入費	4,000	直営2図書館分
高齢者インフルエンザ費	129,000	市の負担500円⇒1000円に増額(25815人)
子ども医療費窓口負担	51,000	300円⇒0円に(未就学児童)
甲状腺がん検査費	360	3000円/一人×120人分
学校給食費	146,000	2人目半額、3人目以降無償化
国民健康保険料の引き下げ	140,000	1世帯当たり5千円の引き下げ
計	538,360	

但し、財調の取り崩しに対しH28年度補正予算中庁舎整備基金積立金の一部(2億円)を活用して、財調の取り崩しを2億円減額することも視野に。